

第74回 沖縄県中学校野球選手権大会特別規則

- 1 試合時間 試合は1時間30分と計算し、その6.0分前までには集合する。
- 2 オーダー交換 (1)オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(5部提出)
(2)攻守決定は、前の試合の4イニング終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち合いの上、主将が行う。
- 3 ダッグアウト (1)抽選番号の若い方が1塁側とする。登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。
(2)ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。
(3)ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
- 4 シートノック (1)シートノックは、1回戦から決勝戦まで後攻より行う。時間は1回戦から準決勝は5分間、決勝戦は7分間とする。
但し、天候等の理由からシートノックを行わない場合もある。
(2)シートノック時のみ、登録外の補助員(5名以内)を認める。なお、ユニフォーム、ヘルメットを着用すること。
(3)ノッカーは、ユニフォームを着用する。
- 5 応援 (1)中学生にふさわしい応援をする。(相手に対してのやじ等は禁止する)
(2)応援は攻撃側のチームが優先に行う。
- 6 守備側と攻撃側のタイムの回数制限 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3回以内とする。なお、延長戦となった場合は、1イニングに1回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。
- 7 監督が投手の所へ行く回数の制限 (1)監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、延長戦は1イニングに1回行くことができる。
(2)監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。なお、他の守備についていたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。
- 8 用具 (1)マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みを禁止する。
(2)手袋は、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。(リストガード等の使用は禁止する)
(3)ストッキングの形を統一する。
(4)全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B)が完全に消えた用具は使用できない。
(5)捕手(控え含む)は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B)が入ったマスク・スロートガード・レガース・プロテクター・ヘルメット・ファウルカッパを着用すること。また、打者・走者・次打者・ベースコーチ・バットボーイは、全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B)が入った両側にイヤーフラップ(内側にはスポンジ等)のついたヘルメットを着用すること。
※マスク及びヘルメット(捕手用含む)は、SGマークのついたものとする。
- 9 試合のスピード化 (1)打者・次打者・ベースコーチの4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所へ移動すること。
(2)投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。
(3)捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。
(4)次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。
(5)サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッテリーボックス内でサインを見る。
- 10 その他 (1)球場内でのアップは、チーム統一のTシャツでもよい。ただし、シートノックからは試合用のユニフォームとする。
(2)各球場での芝面利用の際、試合及び正規のシートノック以外は芝生保護のためスパイク以外のシューズで行うこと。
(3)コーチは、試合前のノックを行う以外は、ベンチから出ないものとする。
(4)代理監督は必ずユニフォームを着用すること。
(5)選手交代は、監督が球審に告げること。
(6)記録員は、ユニフォームか制服とする。また、教職員コーチの服装は平服でもよい。
(7)試合中のアップ(キャッチボール)については2組(4名以内)とする。
(8)バットボーイについては登録メンバーの中から1名選び、ヘルメットの着用を義務づける。
(9)県・地区中体連の規定及び各学校の規則に沿った中学生らしい身なり・容姿で参加する。
(10)各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタンドを清掃する。